

広報 なかわだ

第 361 号

11 月の予定

教会委員会	11 月 8 日
典礼委員会	11 月 1 日
死者のためのミサ	11 月 2 日 10 時
王であるキリスト・初聖体	11 月 22 日
聖アンデレ使徒	11 月 30 日 10 時



2009 年 11 月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1

Tel. (045) 803-6141

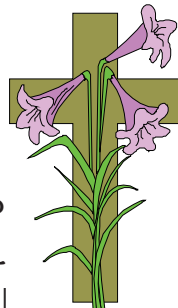
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 21 年 11 月 8 日



私を信じる者は、たとえ死んでも生きる

主任司祭 小林 陽一



11 月は、死者の為に祈る月と教会では言われております。イエス様は、ラザロが亡くなって 4 日経った時、マルタに「私は復活であり、いのちである。私を信じる者は、たとえ死んでも生きる」と言いました。(ヨハネ福音書 11 章 25 節) ここで言う「死んでも生きる」は、たとえ肉身は死を迎えても、その人は霊的に永遠の命に生きつづけるという意味となります。

親しかった方々と死別したとき、私たちは、言い知れない悲しさにおそわれます。けれども、故人と私たちの心の交流は切れたわけではありません。故人のために祈ることによって、私たちは、前よりも故人を近くに感じることもあります。特に、世を去ったカトリック信者のために捧げるミサの中で、故人の永遠の安息を祈ることはよいことです。私たちの祈りが、故人の罪の許しと、靈魂の浄めが与えられるための神への捧げものとなります。また、神の国に入った靈魂は、地上の私たちを見ていて下さり、神への私たちの願いを取り次いで下さいます。

フィリピン国のカトリック信者の皆さんは、11 月 2 日（死者の日）に、家族みなでご馳走を持参して、故人の眠るお墓を訪ねます。お墓に眠る故人に祈りを捧げ、故人の好きなギター曲を演奏し、お料理や果物を捧げて故人との交流を深めます。親しかった故人を、死後も忘れておられません。

11 月は死者の月と呼ばれておりますが、祈りを通して、故人とのお付き合いを深めましょう。

典礼こよみ（11 月）



日	曜		ミサ・勉強会	備考
1	日	祭日 諸聖人	主日ミサ（9 時）	典礼委員会
2	月	死者の日	死者のためのミサ（10 時）	
6	金		初金ミサ（10 時）	掃除 1 G
7	土		主日ミサ（18 時）	
8	日	年間第 32 主日	主日ミサ（9 時）	教会委員会
14	土		主日ミサ（18 時）	掃除 2 G（9 時 30 分）
15	日	年間第 33 主日	主日ミサ（9 時）	七五三の祝い
21	土			掃除 3 G（9 時 30 分）
22	日	祭日 王であるキリスト	子どもと共に捧げるミサ（9 時）	初聖体式
28	土			掃除 4 G（9 時 30 分）
29	日	降誕節第 1 主日	主日ミサ（9 時）	
30	月	祝日 聖アンデレ使徒	祝日ミサ（10 時）	

神の国に迎えられた母の最期の日々

T. T.

この病院に入ってから幾日が過ぎたであろうか。もう過ぎ去った日々を数えることはできない。

もう夕方なのか、蝉の声が聞こえ、廊下を歩く人の足音、食事の時間なのか、運搬車のカチャカチャという音が聞こえる。身体を横に動かす力もない。子どもが来て、口に重湯のようなものを含ませてくれるが、それが何なのか分からないし、味もない。口を押さえながら、水でかろうじて流し込んでくれる。意識が薄れていく。

どのくらい過ぎたのか、看護婦が検温に来る。左足の感覚がないことを伝えるが、布団の裾をめくった後、何事もないかのように、隣のベッドに行ってしまう。意識が薄れ、枕元のマリア様の像がかすむ。もどかしさで右手でロザリオを握りしめ、「めでたし聖寵満ちみてるマリア、主おん身とともに在します・・・」と唱え始めるが、再び意識が遠のく。

昨日M神父様が見えた。何時頃であつたか、終油の秘跡を受け、ご聖体も頂いたが、飲み込むことができず、水で流し込んで下さる。神父様が祈りをして下さるが、意識の中にない。でも、苦しみがなくなり、眠りの中に入る。

懐中電灯が枕元を照らし、看護婦が声をかける。朦朧とした意識の中で返事をするが、声にならない。医師が来て脈をとる。看護婦が酸素吸入を持ってきて、酸素が肺に流れる。意識がはつきりしてきた。「たねさん！」と幾度か呼ばれ、うなずく。「だいじょうぶそうね」という声のはつきり聞こえた。手にあるロザリオを握りしめ、再び祈る。「めでたし聖寵満ちみてるマリア・・・」。過去に犯した罪の赦しを願い、苦しかったこともあったが、子どもが成長して私の重荷を共に背負ってくれたことなどをマリア様に感謝して、夕焼けのなか祈りを捧げた。

窓の外を明かりが青白く照らす。明日まで生きて、子どもたちの顔を見てから「さよなら」を言おう。喉が渇く。痰が喉にからむ。意識が薄れ、胸の上に置いた十字架が重い。静かに召されることを願い、再び祈りの中に沈む。

長男が来た。何も言わず手を握りしめ、何か言うが解らない。今までのことを子ども達に詫言いたい……。昼間なのか、夜なのか……。看護婦が目拭いてくれる。薄れゆく意識のなかで、「主よ、お恵みを。平安を。お許してください」。

母のことを思い出す。信州の山、川の音。田舎に帰ったんだ。母が側にいる。夕焼けの中に、はつきりとマリア様が見える……。

「教会建物を考える会」よりのお知らせ

【教会建物を考える会】では、昨年度の「女子トイレ改修」今年度に入り「男子トイレ改修」の(案)を作成し、教会委員会の承認と臨時総会で皆様のご理解を頂き、現在では「段差も解消」し、車椅子の使用も可能となり、皆様のご協力に感謝しております。

その後も、信徒の皆様が「気持ち良く礼拝できるよう」いろいろ検討しております。

そして、中和田教会では教会建物に入る時、上履き(スリッパ)を使用して頂いておりますが、スリッパの傷みも激しく、体の具合の悪い方・高齢者の方等の、履き替え時に体が不安定になることや、スリッパによる「つまづき」が心配されます。更には、毎週掃除当番が雑巾で水拭きを行なっておりますが、(特に)これから冬を迎え厳しさが増して来ます。

【考える会】では、聖堂・集会室・トイレが「土足可能な床になっていること」に注目し、**土足化を検討**しています。

10月25日より、「玄関マット」を試験的に設置いたしますので、靴のほこり・砂などを落として聖堂にお入り下さい。設置するマットは、

★スロープの玄関外側：エクステリアマット(ほこり・砂をパイル使用で除去する)

★玄関内側：吸塵・吸水マット(細かなほこり・水分を除去する)

◎2週間のレンタル(ダスキンの取り来ます)となりますので、水洗い等せずそのままお使い下さい。更に、毎週のお掃除は「ダスキンモップ」にて、床掃除をお願いいたします。

★ダスキンモップS(聖堂椅子の間、集会室・事務所等の掃除用)2本

★ダスキンモップM(幅の広い物)(廊下・聖堂後方部分掃除用)1本

◎2週間のレンタルとなりますので、水洗い等せずそのままお使い下さい。

「玄関マット」「ダスキンモップ」は試験期間2～3週間して、掃除班と意見交換行い、ダスキン(株)とも相談して、今後の方向性を見極めたいと思っております。

皆様から、積極的ご意見をお伺いしたいと思います。



第 42 回横浜教区一粒会大会・参加傍聴記

一粒会 竹内 広治

「私にとって、あなたにとって召命とは何？ —あなたも行って人に仕えなさい—」

現代に生きるわたし達が、いま一度自分を見つめなおし、家庭、地域、職場などで、あなたの【証しびと】として働くことができますように。

一粒会大会に向けての祈り・・・より

◆ あいにく富士は雲に隠れて

今年の大会は10月12日体育の日に、霊峰富士山麓の裾野市にある、不二聖心女子学院で開催されました。毎年8月のはじめ教区の少年たちを対象とした、召命練成会が不二聖心女子学院、山の家で開かれることを皆様よくご存知のことと思います。

ただ会場である学院が、やや遠方であるためアクセスに苦労するのではないかと心配されたのですが、第五地区一粒会役員さんのお骨折りによって、大型親光バスを利用できることとなり、皆さんどうぞ一緒に話をまとまりました。

当日、ほぼ満員の参加者を乗せてバス2台、朝7時30分藤沢駅前を出発いたしました。中和田グループは11名の参加、見知らぬ人とも和やかに挨拶を交わして気分は上々、心配された休日の高速道路は渋滞知らず、バスはスイスイ快調に走ります。

◆ 旅行けば——駿河の国は茶の香り——

住宅地の中をいつのまにか通り過ぎました。と思う間もなく手入れの行き届いた茶畑が、道を挟んでうねりながら続きます。間もなく会場らしい建物を左にみて駐車場へ。よそのバスも続々と到着いたします。ぞろぞろ人が動き始めました。いよいよ大会の雰囲気濃厚となりました。学院の中で最高地点と思われる大会会場（講堂）の入り口から、学院邸内を俯瞰してみました。爽やかな緑に囲まれて校舎がメルヘンチックに、彩り良く建てられていて楽しい学園生活が偲ばれます。尖塔の屋根のトップは十字架ですね、さあ会場に入ります。会場係りの方から例のアルコール消毒を勧められました。会場には別ルートで早めに到着の方が、中和田グループのためにグッドなお席を確保して下さり、助かりました。私は私でいつもながらお弁当とお茶の引換券をしっかりと握りしめて一安心、ほどなく開会の様子です。今日はどうのような感動と共感を覚えることになりますか。

◆ 5人の証し人（あかしびと）があなた（主）を語ります

壇上に本日の講師の方々がお揃いです。司会の沢田神父様から皆様方の所属や、お仕事についてご紹介がありました。続いてお一人ずつ、自己紹介を兼ねながらそれぞれの体験をお話下さいました。始めのうちは会場の熱気を含んだ零細気に、ややたじろぎのご様子でしたが、流石に選ばれた方々だけあって、雄弁かつ流暢に語られ聴衆の耳目に爽やかな印象をお残し下さいました。諫師の方々のお話の内容を、くどくど書き伝えますよりはやがて、秋11月頃一粒会だよりが発行され、大会特集として詳しく之が掲載されますので、是非お読み頂きたいと思います。まあ実を申しますと講演のスピードに、私の書く手が追いつかないでいつもオイテキボリ。これで大会・傍聴記とは我ながら呆れます。

司会の澤田神父様はじめ、Sr 堂平様、看護師の井坂様、ブラジル日系3世横山様及び

宮内神学生、個性豊かなお話振りに聴衆はすっかり魅了されてタイムアップとなりました。

◆ 「主よお受けください・・・私たちのすべてを」

子どもと共に捧げるミサ 奉納の歌、奉納行列 西アフリカ ペナンの聖歌より

休憩時間となりました。いよいよ楽しいお昼です。会場の周りはすべて茶畑、たよりのコンビニなどありませんから、お弁当やお茶は決してお忘れなく、とのPRが徹底された様で、楽しめない方々は見当たりませんでした。お弁当引き換えコーナーは黒山の人だかり、夫々のグループにお弁当が行き渡り、幸せな一時が訪れました。周りを見渡しますと懐かしい神父様やお友達の顔が、あちこちで笑っています。

片付けているうちに「本館2階の聖堂で、ごミサが始まります」とのアナウンスです。瀟洒な感じの聖堂へ人々は集まり始めました。最近新装なったと言われる聖堂の天井と壁は落ち着いた素敵な色調です。なんとなく気持ちが落ち着いて敬虔の思いが湧いて参ります。やがて先唱者の一声により、司教及び司祭団の入場、入祭の歌「からの手で」が全員で歌われ、「子どもと共に捧げるミサ」が希望と喜びのうち始まり、感謝と勇気を頂き終わりました。司教様の嬉しそうな顔でのお話は相変わらず楽しく、参加者一同笑顔一杯幸せ一杯、この日の喜びを感謝に代えて解散、帰路のバスへと急ぎます。

◆ わたしたちの召命 わたしをお使いください（マザーテレサの祈り）より

帰りです。連休にも拘らず東名高速道は朝と変わらず、バスは快走していますので、帰りの到着時間を何時頃になるかと、計算しているそのうちに、待ち伏せしていたかの様に一般道は渋滞が始まり、バタッと動かなくなり山の如くになってしまいました。それでも帰らなければの一心で、喘ぎ喘ぎの走りです。とたんにあちこち携帯の応酬が賑やかになりました。続いて携帯のキャンディーが、一斉に飛び回り始めました。途中で降りますはできない訳で、暫くはじっと我慢辛抱タイムとなりますが、本日の大会の有様を思いだしてこれも暫し、祈りと黙想の時を与えられたと思いを回して感謝すべきと思いました。でもご一緒の皆さんが愉快地振舞って下さいましたから、疲れながらも楽しく意義深い大会への参加でありました。

気の所為かバスのスピードが上がっていますね。藤沢が近づいたのでしょうか？大会への参加は勿論私たちの望みでしたが、神のお招きと考えると、優しい私の神に感謝、ただ感謝あるのみです。家に帰ったら風呂でも浴びて、少しお酒を頂きましょう。

委員会だより

△ 10月11日（日） 10名出席

■報告・審議事項



- (1) 敬老祝福ミサ.. 信徒の未信者の配偶者が75才以上の場合、以前は自己申告で参加して頂いていたが、最近では殆ど行われていなかった。今後は復活し、自己申告で参加頂く。
 - (2) 庭の手入れ.. 今回は時間もかかり、おにぎり等の要望もあったが、今後も特に配慮はしない。
 - (3) 今年のバザー.. 10/4に臨時教会委員会を開き、中止を決定。
 - (4) 横浜教区一粒会大会（10/12）.. 藤沢教会から7時にバスが出る。
 - (5) 湘南キリスト教セミナー.. 11/7（土）、中和田教会にて開催。100名募集だが最大120名の可能性あり。人数は開催の数日前に各教会から連絡頂き、多い場合は追加の椅子を並べる。レンタルも検討。セミナー開催メンバーが実行するが、中和田教会からの若干の手伝いもありうる。当日は土足。
 - (6) 『教区長の時間』の資料.. 小林神父からの依頼として、各グループにて読み合わせをして欲しい。
 - (7) 第5地区共同司牧委員会の課題.. 9/27に戸塚ブロックにて打ち合わせを実施。第5地区全体で司祭が5人になった時の運営案を策定する。
 - (8) 婚活パーティー.. 11/7（土）実施。ポスター以外でも周知する。
- 各グループ連絡・報告事項
- a. 財務G.. 9/30現在で、
 一般会計.. 繰越金総額3,031,768円
 建設会計.. 繰越金総額2,667,379円
 トイレ改修工事 総額4,932,900円
 愛の献金.. 繰越金総額 207,995円
 信徒会計から一般会計等への移し

方につき、今期バザーを実施しないことも加味し検討する。

b. 典礼G..

死者の月ミサ 11/1。その他帰天者の希望ミサは表に記入する。

インフルエンザ対策を検討中。

c. 福祉G..

教会から遠のいている方々や一人暮らしの方々が来やすくなるための方策を検討している。

d. 行事G..

クリスマスパーティーはやめたい。インフルエンザ対策と、夜遅くの飲食は準備の負担や帰宅時間等から好ましくないため。

小林神父意見.. インフルエンザ対策は良いが、パーティーを期待する人もいる。単に急いで帰宅するのでなく、短時間でも和やかに挨拶を交わす交流の機会も欲しい。委員長.. 他の教会で交流を深めるため細かく配慮している所もある。結論として、今年は飲食を伴うパーティーはやめる。それに代わる親交を深める方法を行事委員の美底さんを中心に検討する。子供会の聖劇は、パーティーの有無とは切り離して検討する。（要理と典礼）

e. 広報G..

連絡網の変更がある時は随時連絡して頂きたい。今後適宜改版していきたい。

f. 事務G..

住所変更届が用意してある。変更時は提出して頂きたい。

■小林神父からのお話

(1) 初聖体..

11/22（日）4名予定。お祝いのパーティーを10..30、11..40頃、新集会室にて開催。

(2) 第5地区宣教司牧委員会..

戸塚地区ブロックが動き始めた。将来司祭の数が不足した時のローテーション等の案が提案されたが、今後検討。信徒の司式する葬儀等、儀式の研修がある。

(3) 来年1月の成人式対象者は2名。

委員会後記 小野委員長

●ご案内の通り、恒例のバザーはインフルエンザ対応のために中止することとさせて頂きました。この対応については

●9月27日にお隣の戸塚教会と原宿教会と相談して、少しでもリスクを低減する為に3教会ともに「自粛」の方向で調整することを申し合わせ、

●これを受けて中和田では10月4日の臨時教会委員会で中止を決定した次第です。

●地域の方々や他教会の方々の交流、親睦を図る貴重な機会を失ったことはまことに残念ではあります。ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

●その後もインフルエンザはますます拡大して猛威を振るっており、収束の兆しは全く見えておりません。これから寒くなる時節を迎えており、皆様におかれましてはご自身でくれぐれもご注意、ご自愛頂きますようお願い申し上げます。また、既にご協力頂いておりますが、聖堂に入られる折には手のアルコール消毒を引続き励行頂きますようお願い申し上げます。

●既に何度もご案内しておりますが、11月7日（土）に、湘南キリスト教セミナーが中和田教会で開催されます。今回は、20余年にわたって東京の山谷で活動してこられたフランシスコ会の中谷功神父様にご講演を頂きます。得難い機会ですので、ご近所の方やご友人の方などをお誘い頂き、一緒に参加願えれば幸いです。

●10月のヨゼフ会例会で、「教会の動き、委員会の動き、またいろいろな活動の動きがよく見えない」というご意見がありました。教会委員会としては、ミサ後の「お知らせ」の時間や「広報なかわだ」、また各グループの活動を通してお伝えしているつもりですが、まだまだ不十分のようで申し訳ございません。今後、この課題を改善する努力を鋭意して参りますが、限られたメンバーで、限られた時間のなかでの対応ですので、ご満足頂ける「完璧」なレベルに至ることはなかなか大変なことと思います。是非、ご不明点、疑問点、ご意見、ご指摘事項などがありましたら、ご遠慮なくお気軽に教会委員にお寄せ下さい。「説明する人」と「説明を受ける人」という一方向的な構図ではなく、双方向のコミュニケーションがあれば風通しは（少し）かまいませんが良くなると思います。少しでも状況改善のためにご協力を願えれば幸いです。

ご結婚

2009年9月25日

ルチア 山田 育恵 さん
 （考信さん次女）

西坂 都良 さん

St. Augustine Church Honolulu
 にて挙式

東京都大田区大森北在住

お知らせ

ろな活動の動きがよく見えない」というご意見がありました。教会委員会としては、ミサ後の「お知らせ」の時間や「広報なかわだ」、また各グループの活動を通してお伝えしているつもりですが、まだまだ不十分のようで申し訳ございません。今後、この課題を改善する努力を鋭意して参りますが、限られたメンバーで、限られた時間のなかでの対応ですので、ご満足頂ける「完璧」なレベルに至ることはなかなか大変なことと思います。是非、ご不明点、疑問点、ご意見、ご指摘事項などがありましたら、ご遠慮なくお気軽に教会委員にお寄せ下さい。「説明する人」と「説明を受ける人」という一方向的な構図ではなく、双方向のコミュニケーションがあれば風通しは（少し）かまいませんが良くなると思います。少しでも状況改善のためにご協力を願えれば幸いです。